

「伊達市の医療体制に関すること」に係る提言について

伊達市議会文教福祉常任委員会

調査の目的

団塊の世代が80歳以上となる2030年以降の超高齢化社会を見据え、医療・介護のニーズを併せ持つ高齢者の急増に対し、従来の「縦割り」から「切れ目のない」サービス体制への移行が必要であるため。

調査の時期

令和7年8月～令和8年2月（委員会を5回開催）

- (1) 令和7年8月18日（月）13:30～
- (2) 令和7年9月16日（火）15:45～
- (3) 令和7年11月6日（木）10:00～
- (4) 令和7年12月18日（木）15:00～
- (5) 令和8年2月2日（月）14:00～

調査の手法

1 現状把握と主な内容

- (1) 民間医療コンサルティング会社から、医療業界の医療需要拡大や医療費の増大、医療従事者不足などの病院経営赤字の課題に対し、ICTの活用による業務効率化やチーム医療の推進を進めている病院の事例紹介を受け意見交換を行いました。（8/18）

2 先進事例調査

他市町村の取り組み状況を調査しました。

- (1) 地域医療に独自に取り組んでいる岩手県奥州市の事例について、視察研修を行うこととしました。（9/16）
- (2) 岩手県奥州市役所を視察し、「地域医療奥州市モデルと新病院の役割について」研修、意見交換を行いました。（11/5）
- (3) 先進地行政視察として、社会医療法人石川記念会HITO病院（愛媛県四国中央市）への事前質問及び視察内容の確認を行いました（12/18）

(4) 社会医療法人石川記念会H I T O病院（愛媛県四国中央市）を視察し、I C T活用と病院D X推進による職員の作業負担の軽減、業務効率化、働き方改革等について、導入経緯、費用、課題等の意見交換を行いました。（2/2）



調査結果の報告

令和8年第2回定例会議（3月定例会議）の本会議で委員長が調査結果の報告を行いました。（3/25）

